



ふくおか [Good] 農業人100

主な農産物 / イチゴ、米、麦、大豆

土井 雅喜さん (38歳) (営農地 / 大川市鐘ヶ江)

就農から6年。深まる、地域の人々の交流

《就農のきっかけ》

奥さんの一言で就農を決意

実家は非農家ですが、両親は庭の手入れが好きで、今も家庭菜園をしているという土井さん。本人も子供の時から手伝いをするなど、農業への関心はあったようです。

東京で大学を卒業後、大学時代のバイトの延長といった感じで4年間、発掘調査員として働いていましたが、結婚を機に実家がある佐世保市に戻りました。

故郷では有機栽培農家で栽培などの研修と農産物の配達などを行いながら、農繁期には奥さんの実家(大川市)で農作業の手伝いをするという生活を送っていました。

そんなある日、「農作業をするお父さんの背中がおじいちゃんに見えてきた…」と奥さんがつぶやきました。奥さんはイチゴと米麦大豆を栽培する農家の3人姉妹の末っ子。「おじいちゃんが頑張って広げた田畑を自分達の代で失くしたくない」という奥さんの強い思いが、土井さんが自ら農業に取り組む大きなきっかけとなったようです。

《これまでの過程》

思い切り農業ができる環境に感謝

就農して6年。新規参入でしたが、義父の後を継ぐという形で就農したため、資金面や仕事面では問題があまりなかったという土井さん。その一方、「最初の3年間は休み方など農家独特のリズムがわからない。同年代の生産者は自分よりもはるかに経験年数があり、高い栽培技術を持っている。だから早く周囲に追いつきたいという焦りから、常に気を張った状態で、精神的な疲れが大きかった。」と当時の苦勞を語ってくれました。

そのような中、義父からの勧めもあり、JAの青年部活動に積極的に参加するようになったことで、同世代の仲間もでき、楽しんでイチゴ栽培に取り組めるようになりました。土井さんは「同世代の先輩から学ぶことは、自身の農業へ活かすことはもちろん、精神的にも大きなプラスになっている。」と地域の方への感謝の気持ちを持ち続けています。



プロフィール

- 家族構成 / 父・母(妻方)、本人、妻、子ども3人
- 前職 / 有機農産物の栽培及び販売 ■ 営農年数 / 約6年
- 耕作(経営)面積 / イチゴ(30a)、米(4ha)、麦(7ha)、大豆(2ha)
- 販路 / JA共販

《これからの展望》

農業の魅力を多くの人に伝えたい

土井さんは「農業は閉じられた世界だと感じている。フェイスブックなどの情報発信ツールを活用し、農業の魅力を多くの人に伝えていきたい。そのためには、自分が楽しんで農業をすることが大事。」と言います。「きつい、大変、休みがない」といった農業のマイナスイメージを変えていきたいと思っているようです。

さらに土井さんは、「今は生産者と消費者の顔がお互い分かっていくなっているように感じます。生産者ももっと努力して、消費者の喜ぶ顔が見える取り組みが必要だと思います。」と熱く語ってくれました。土井さんは現在、青年会議所での活動にも積極的に参加し、異業種交流の場などで、自分の思いの実現に向けて取り組んでいるところです。



Good 成功のためのポイント

楽しんで仕事をするということ。考え方一つできつい仕事も楽しい仕事になる。また、人生のイメージをもつこと。5年先、10年先の夢をもって行動することで、自然と道は開けていく。